

三浦英之 著

『白い土地 ルポ 福島「帰還困難区域」とその周辺』



発行=集英社クリエイティブ 発売=集英社
定価: 本体1800円+税 四六判ハード/260ページ
ISBN978-4-420-31090-1



著者プロフィール

1974 年、神奈川県生まれ。朝日新聞記者、ルポライター。福島県南相馬市在住。

《受賞歴》

『五色の虹 満州建国大学卒業生たちの戦後』 開高健ノンフィクション賞

『牙 アフリカゾウの「密猟組織」を追って』 小学館ノンフィクション大賞

『南三陸日記』 平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞

『日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか』 石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞

娘を探し続ける父親

馬に青春をかける高校生

名門野球部を未来につなぐために立ち上がった OB
避難指示解除後たった一人で新聞配達を続ける青年
帰還困難区域で厳しい判断を迫られる町長たち

人気連載、
待望の書籍化!

数々のノンフィクション賞を
受賞した気鋭の新聞記者

三浦英之

原発被災地の
最前線で生き抜く人々と、
住民が帰れない
「白い土地」に通い続けた
ルポライターの物語。

2020年10月26日発売!

『白い土地』特設サイト <https://www.shiroitochi.com>

『白い土地』ツイッター @shiroitochi

ウェブメディア imidas <https://imidas.jp>

目次

序章 白い土地

第一章 夕風の海

第二章 馬術部の青春

第三章 「アトム打線」と呼ばれて

第四章 鈴木新聞舗の冬

第五章 ある町長の死 I

第六章 ある町長の死 II

第七章 ある町長の死 III

第八章 満州移民の村

第九章 フレコンバッグと風評被害

第一〇章 新しい町

第十一章 聖火ランナー

終章 一〇〇〇年先の未来

【白地】（しろ・じ）

東京電力福島第一原子力発電所が立地する福島県大熊町などで使われている隠語。放射線量が極めて高く、住民の立ち入りが厳しく制限されている「帰還困難区域」の中でも、将来的に居住の見通しが立たないエリアを指す。

安倍首相（当時）への無通告質問、フレコンバック流出事件など、イミダスの人気連載《「復興五輪」の現場から》より大幅に加筆！

復興とは、一体、何だったのか。

連載中から SNS 上で感動の声、反響多数！

知らなかったことばかりだった

現地のリアルが匂い立ってくる

忖度しない記者魂

体の芯が震えた

ZOOM 等での著者インタビュー取材も調整いたします。
ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

本書についてのお問い合わせ

編集担当：集英社クリエイティブ イミダス編集部 森山聡平

TEL：03-3239-3813 moriyama@shueisha-cr.co.jp

集英社広報部：伊勢村一也 TEL：03-3230-6314 FAX：03-3228-9240

販売担当：書籍販売部販売第3課 登坂祐介／宣伝担当：書籍宣伝課 渡辺貴史

〒101-8050 東京都千代田区一ツ橋 2-5-10